

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 テイレシアスの食卓——河井健司
- 42 大往生考
- 51 西風
- 59 交差点——読者の声・編集者の声

- 80 金融の世紀——黒木亮
- 88 皇室の風——岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 新・大学評判記
- 94 本に遇う——河谷史夫
- 96 をんな千一夜——石井妙子
- 114 マスコミ業界ばなし

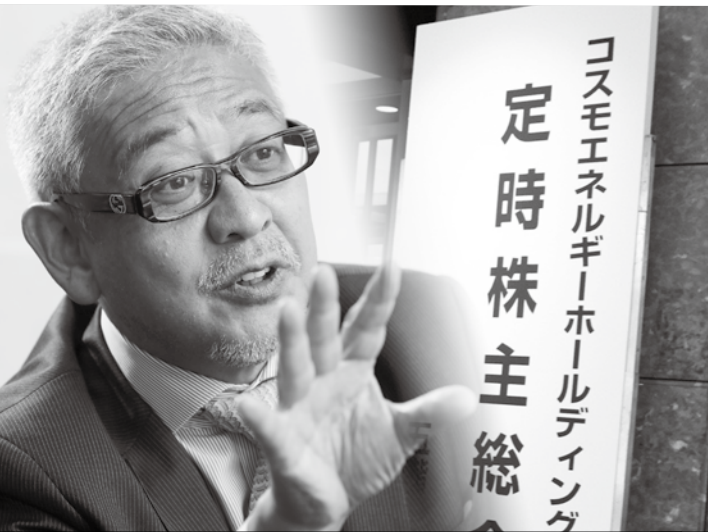


来年発足150年を迎える旧華族の組織は、会員数1000人超。国民の見えないところで「皇室の護持」のために、今も活動を続ける。時に政治や世論に翻弄される皇族にとって、心強い支えとなる存在だ。(102頁)

- 98 社会・文化●情報カプセル
- 100 ロシアに襲われる「トヨタ金融子会社」——札付き「サイバー企業」と取引の過去
- 102 霞会館
- 106 クマ「出没多発」は野生の逆襲——人間と動物の力関係に異変
- 108 本誌と日経新聞「名誉毀損裁判」顛末
- 110 報道機関の「本分と良識」を問う
- 112 講談社「週刊現代」反乱劇の内幕——役員辞任で「休刊」は不可避に
- 112 認知症予防「世界の最前線」
- 112 競争激化する研究と開発

- 60 米国「建設バブル」が鳴らす警鐘——「世界分断」悪化の象徴的現象
- 62 関西電力が「核燃料」でまた詐術
- 64 コスモ石油「買収防衛策」への疑念
- 67 連載「クロースアップ」堀江正博（東急新社長）——「東急不動産」をどう始末するか
- 68 連載「企業研究」住友化学——真つ赤に炎上する「経団連会長社」
- 72 強欲フランド「オアシス」の正体——創業者の素性と「次の標的」
- 74 経済●情報カプセル
- 78 連載「地方金融の研究」大分銀行——預貸率「六割以下」で抱えた爆弾
- 82 「緑の銀行」が見限る三井住友建設
- 84 トヨタの姑息な「株価吊り上げ術」
- 86 真夏の「電力逼迫」最悪シナリオ——「酷暑で節電」が巻き起こす人災

物言う株主＝悪党。排除のためなら手段を選ばず。前時代的な理屈で「M&Aフィクサー」に企業防衛を任せただけで、評判は地に墮ちた。株主総会で辛勝は果たすも、法廷闘争となれば、傷は深さを増す。(64頁)



コスモエネルギーホールディングス
定時株主総会



自ら風を煽っておきながら、解散の大剣を抜けずに晒した醜態。先送りで自民党内の権力構造は一気に流動化。茂木の面従腹背も露骨になった。夏の人事で幹事長交代ができなければ、求心力はガタ落ちた。(48頁)

- 44 政治●情報カプセル
- 46 甚だうんざり「河野太郎幻想」
- 48 岸田は茂木を斬れるのか
- 52 連載「政界スキャンダル」安倍派は「消滅」の宿命
- 54 維新・馬場代表「天下取り」の皮算用——「解散断念」で番得した男
- 56 無駄金となる防衛費「四十三兆円」
- 58 連載「罪深きはこの官僚」油布志行（証券取引等監視委員会事務局長）——千葉銀行の犯罪に「天目」勧告

- 6 プーチンの「余命」
- 12 バイデンvsトランプ「再戦」の憂鬱——有権者が望まぬ候補の大統領選へ
- 14 フランス「中国傾斜」の真意——台湾問題「米欧結束」は絵空事
- 16 プリゴジンの乱で沈むロシア外交
- 18 WORLD●情報カプセル
- 22 チュニジアが「難民ビジネス」に本腰——独裁政権と欧州の薄汚い「癒着」
- 24 サウジが目指す「文化立国」の欺瞞
- 28 カトリック教会が「分裂」の危機——「同性婚」を巡ってドイツが叛旗
- 30 インドネシア大統領選で注目「穴馬」——「ジョコ王朝」の継承者は誰か
- 32 ミャンマー国軍「虐殺」の共犯者——武器「闇供給」を支える国々
- 34 日朝首脳会談「岸田政権の夢」
- 36 中国人民元「大暴落」は遠からず
- 38 連載「現代史の言霊」七月の判決——ジョン・デミヤニコ裁判（一九九三年）

プーチンは「反乱」の予兆を詳細に察知していた。なのにプリゴジンの制止に失敗。強権統治のよろさが国内外に知れ渡った今、独裁の終幕はもはや避けられない。問題はそれがいつ、どのように起こるかだ。(6頁)

